評価日：2026年9月14日

株式会社クイックモーション＆カラーズ

むさしのフレンズローンNEXT評価書

株式会社ぶぎん地域経済研究所

本文書は、株式会社武蔵野銀行（以下、「武蔵野銀行」という）が株式会社クイックモーション＆カラーズ（以下、当社という）に対して取り組む「むさしのフレンズローン NEXT」に対するオピニオンである。「むさしのフレンズローン NEXT」は、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」を参考に、サステナビリティに係る有意義な目標を設定した中堅・中小企業向けのサステナブルファイナンスであり、武蔵野銀行は融資の取り組みを通じて借り手のサステナビリティ経営を支援する。なお、本文書は、「むさしのフレンズローン NEXT」が上記の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」又は「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に記載された諸原則に適合していることを何ら保証するものではない。

１．会社概要とサステナビリティ方針

（１）会社概要

同社はさいたま市内で創業 24 年を誇る中古自動車販売店である。小型車から SUV、ファミリーユース、MT スポーツカー、軽自動車、輸入車まで、最新トレンドを踏まえた豊富なラインナップを取り揃え全国から多くの注文を獲得している。

販売ルートは、大宮市・浦和市・川越市のロードサイド店舗に加え、カーセンサー等のネット媒体を積極的に活用し、北海道から沖縄まで全国への販売実績を有している。さらに、車検や修理整備、板金塗装といった充実したアフターサービスをはじめ、保険、ローン、パーツ取り付けまで、車に関するあらゆるサービスをワンストップで提供している。

（２）サステナビリティ

同社は、使用済み車両から取り外した部品を再利用する「リユース部品」や、消耗部分を新品同様に再生した「リビルト部品」の活用を進めている。これらは廃棄物の削減や環境改善につながるだけでなく、新品よりも安価なため修理コストの大幅な引き下げにも貢献するものである。さらに、こうした取り組みはサーキュラーエコノミーの推進や、部品製造・輸送時に発生する CO2 排出量の抑制など多方面でのサステナビリティの向上にも繋がっている。

これらの環境配慮型の取り組みをより一層推し進めていく上では、原動力である従業員の健康保持・増進が不可欠であり、当社ではこれまでも健康経営に注力してきたが、今後は環境貢献と社員のウェルビーイングを両立させながら、さらなる取り組みを深化させていくものである。

２．KPI・SPTsの選定

（１）KPI・SPTsの概要

人的資本経営の高度化を目的として、経済産業省が推進する「健康経営優良法人認定」の取得をKPIおよびSPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）として選定した。

（２）KPI・SPTsの重要性

同社はこれまで、「定期健康診断の受診率100%」「40歳以上の従業員の特定保健指導への協力・サポート」「夏期の熱中症・暑熱対策」「整備士・保険募集人などの資格手当ての支給によるスキルアップとやりがいを醸成」などに取り組み、全ての従業員が働きやすい環境の整備を進めてきたが、本KPI・SPTsの設定により、これらの取組みを一層体系化するものである。

本取り組みは、単なる認証取得にとどまらず、健康管理体制の整備や働き方の見直しを通じた組織全体の生産性向上を企図するものであり、当社の最重要経営課題に位置付けられる。

➢　職種ごとの従業員数

職種	自動車セールスコンサルタント	自動車整備士	ディテイリング技術者	陸送ドライバー	陸運局登録事務専門職	合計
従業員数	8人	2人	1人	1人	2人	14人

３．年度別目標の設定

（１）年度別目標の概要

当社は、KPI・SPTs となる「健康経営優良法人認定の取得」について、人的資本経営の高度化を図る観点から、段階的な取組みを通じて達成することを目標として設定した。

【融資期間：2026年9月～2033年9月（7か年）】

➢　スケジュール

年度	2026年4月期 実績	2027年4月期 目標	2028年4月期 目標	2029年4月期 目標	2030年4月期 目標	2031年4月期 目標	2032年4月期 目標	2033年4月期 目標
フェーズ	-	導入期 定着・改善期	達成期	PDCA	PDCA	PDCA	PDCA	PDCA
健康経営優良法人認定	-	-	取得	維持	維持	維持	維持	維持

初年度においては、（導入期）健康経営に関する基本方針の策定や推進体制の構築、現状把握等を通じた基盤整備を実施する。次に（定着・改善期）健康診断結果に基づく有所見率の改善、ストレスチェックの活用、営業職の残業時間の適正化等の取組みを強化し、組織全体への定着を図る。さらに、次年度（達成期）においては、これまでの取組みを踏まえ、健康経営優良法人認定の取得を目指すとともに、PDCAサイクルの確立により継続的な改善体制を構築することとしている。

以上の通り、当社は段階的かつ計画的な取組みを通じて、最終的に健康経営優良法人認定の取得および定着を

図る方針である。

（２）年度別目標の政府・業界等の目標等との比較

同社の健康経営の取組みは、政府が推進する「健康日本21」や労働安全衛生法等の趣旨に完全に合致している。初年度の（導入期）「基盤整備」は国の義務的施策の確実な履行に対応するものであり、（定着・改善期）「有所見率改善・残業適正化・ストレスチェック活用」は業界課題である生活習慣病対策や長時間労働の是正において、政府目標を上回る水準のKPI設定を意図している。次年度（達成期）以降の「優良法人認定の取得とPDCA定着」により、単なる法令遵守に留まらず、業界全体のモデルケースとなる持続的な健康経営体制の構築を目指すものである。

（３）年度別目標の達成手段とネガティブインパクト

主な達成手段

・　経営者による「健康経営宣言」の社内外への公表
・　推進プロジェクトチームの設置と、年間スケジュールの策定
・　メンタルヘルス・相談窓口の設置

ネガティブインパクトの懸念

・　形式的な取り組みによる従業員の不信感やモチベーションの低下
・　健康診断や保健指導への関与が強まることで、「過度に管理されている」と感じるストレスや心理的負担

回避策

○　同社の健康経営推進における基本方針とアプローチ

経営トップ自らが「従業員の心身の健康が企業の持続的成長と顧客サービスの質の向上に直結する」という意義と強い決意を社内外へ継続的に発信し、経営戦略としての位置づけを明確にする。その上で、具体的な施策の策定や運用のプロセスにおいては、トップダウンで一律に押し付けるのではなく、現場で働く従業員の声を直接吸い上げる「ボトムアップ型」の体制とすることで、ネガティブインパクトを回避する。

（４）年度別目標の妥当性

当社は武蔵野銀行の協力のもと、目標の有意義性や計画の妥当性の検討を踏まえたうえで年度別目標を設定した。年度別目標は定量的なものであり、達成状況について武蔵野銀行及びぶぎん地域経済研究所からの検証が可能である。

（５）ローンの特性

貸出期間中に適用される金利スプレッドは、①当社が年度別目標の達成に向けた取り組みの進捗を武蔵野銀行及びぶぎん地域経済研究所に報告すること、②達成状況についてぶぎん地域経済研究所による検証を受けること、③年度別目標を達成すること、の３要件により確定する。金利スプレッドの変動内容については、年度別目標の達成状況などに応じて縮小・拡大が想定されており、融資の契約書類において特定される予定である。

４．モニタリング

（１）定期レビュー

同社は年度別目標の達成状況を書面等により武蔵野銀行に提出する。これにより武蔵野銀行は年度別目標の達成状況に関する最新の情報を入手できる。

（２）SPTs達成検証

ぶぎん地域経済研究所は、当社の年度別目標の達成状況について検証し、武蔵野銀行へ報告する。

以上

１．ぶぎん地域経済研究所のオピニオンについて

本文書は、貸付人が借入人に対して実施する「むさしのフレンズローン NEXT」サステナブルファイナンスについて、ローン・マーケット・アソシエーション（ＬＭＡ）等の「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」を参照し設定する目標としての合理性に対するオピニオンを述べたものです。そのため、本文書は、「むさしのフレンズローン NEXT」が「サステナビリティ・リンク・ローン原則」又は「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に記載された諸原則に適合していることを何ら保証するものではございません。また、本文書の内容は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。ぶぎん地域経済研究所は、当文書のあらゆる使用から生じる直接的、間接的損失や派生的損害については、一切責任を負いません。

2．武蔵野銀行との関係、独立性

ぶぎん地域経済研究所は武蔵野銀行グループに属しており、武蔵野銀行及び武蔵野銀行グループ企業との間及び武蔵野銀行グループのお客さま相互の間における利益相反の恐れのある取引等に関し、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は武蔵野銀行とは独立して行われるものであり、武蔵野銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

3．ぶぎん地域経済研究所の第三者性

借入人とぶぎん地域経済研究所との間に利益相反が生じるような、資本関係、人的関係などの特別な利害関係はございません。

4．本文書の著作権

本文書に関する一切の権利はぶぎん地域経済研究所が保有しています。本文書の全部又は一部を自己使用の目的を超えて、複製、改変、翻案、頒布等をすることは禁止されています。